

葉山災害ボランティアネットワーク

HSVΝ

2023 年度総会 議案書

日時 2023 年 6 月 18 日(日)午後 1 時 30 分より

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

◇総会議案

第 1 号議案 2022 年度活動報告及び
同収支会計報告並びに会計監査報告

第 2 号議案 2023 年度活動計画（案）

第 3 号議案 2023 年度予算（案）

第 4 号議案 役員選出

以上

葉山災害ボランティアネットワーク

【第1号議案】2022年度活動報告及び同収支会計報告並びに会計監査報告

2022年度活動報告

2022年10月16日、コロナ感染症の蔓延により2年にわたり延期されていた「令和4年度ビッグレスキューかながわ(神奈川県・葉山町総合防災訓練)」が南郷上ノ山公園を主会場として実施され、警察、消防、自衛隊、各種防災組織など計145機関が参加し災害時の役割と連携を確認しました。

訓練の一部では「災害ボランティアセンター(以下「災害VC」)設置運営訓練」が行われ、HSVNは5月末の実施決定以来、社協とともに県主宰の「災害ボランティアセンター設置運営訓練作業部会」に参加し、他の団体との役割調整を行いながら、訓練の具体的方法を社協に提案する形で準備を進めました。9月～10月には3度にわたる事前訓練・リハーサルを行い、ビッグレスキュー当日はHSVNから17名のメンバーが参加し、無事終えることができました。

この訓練にほぼ全ての葉山町社協職員が参加されたことは、大変心強く思いました。事後のアンケートでも多くの職員が、継続的な訓練・研修に前向きであることが確認されたことを受け、HSVNでは次年度以降の職員との一層の連携強化を図るための具体的な施策の実施を要望書にまとめ、社協に申入れを行いました。

災害VC設置運営訓練には初めての試みとして障がい者(ろうあ者団体)の方が参加され、災害VCの障害を持った方への対応という課題が浮き彫りとなり、2023年2月のHSVN春季研修会「ろうあ者の困りごとについて学ぶ」に繋がりました。

以上の一連のビッグレスキュー対応により、結果的に2022年度の大半を、準備とそこから派生した訓練・研修を行うことに費やすこととなり、昨年の総会でご承認いただいた活動計画は、予定した事業の多くが出来ない状況となりました。これはまことに残念なことでありますが、県域での大規模な訓練に参加できたことで得られたものも少なくはありません。その成果は2023年度以降の計画に反映するようにしていきたいと思えます。

さて、厚生労働省より、2023年5月8日より、新型コロナウイルス感染症の位置づけが季節性インフルエンザや風疹と同じ5類感染症に変更され、いわばWithコロナといった状況となりました。一方で、近年の自然災害の多発などを見ても、Withコロナの状況のもとで自然災害が発生したらと考えると、私たちは、「日頃より災害に備える」と同時に、「対処の方法を十分検討しておかなければならない」と再認識させられました。

〈2022年度事業計画 基本重点事項〉

1. 会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成に努める。
2. 災害ボランティアセンター(以下災害VC)の仕組みづくりを推進する。
3. 関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る。
4. 広報活動を通じて新会員の獲得に努める。
5. 被災地支援活動を継続して行う。

6. 防災教育に関する取り組みを継承・発展させる。

〈2022年度の活動内容〉

1. 「会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成」について

- ① 感染症対策ガイドラインに沿った災害VC設置運営訓練を「令和4年度ビッグレスキューかながわ(神奈川県・葉山町総合防災訓練)」の中で実施し、HSVN会員が17名参加し、総務班、ボランティア受付班、ニーズ受付班、資機材・送迎班に分かれて実戦を想定した訓練を行った。
- ② 他団体が行う訓練・研修に積極的に参加し多様な方法を学ぶについては、かながわ311ネット「防災教育ファシリテーター養成講座」ほか各種訓練に会員が参加した。(詳細は巻末〈表〉参照)
- ③ 災害VC運営に関するICTの導入を学ぶについては、かながわ災害情報連絡会「オンラインICT講座」ほか各種訓練に会員が参加した。(詳細は巻末〈表〉参照)
- ④ ビッグレスキュー参加の中で見出した課題に関して、研修会「〈ろうあ者〉の困りごとについて学ぶ」を開催した。(2023年2月11日・福祉文化会館/会員16人、一般22人参加)
- ⑤ 「葉山町防災講演会」(2023年3月11日)に会員8名が参加した。かながわ311ネット代表伊藤朋子さん『東日本大震災から学んだこと』他

2. 「災害VCの仕組みづくり推進」について

- ① ビッグレスキューにおける災害VC設置運営訓練を通して、スキルと課題は検出でき、今後の課題改善につなげるステップとなった。
- ② 「災害VC閉鎖後のニーズ対応について」は取り組み出来なかった。
- ③ 中間支援組織との関係構築は、地域の行事に参加し、みんな(災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ)、広域連携かながわ、SL災害ボラネット、ユナイテッドかながわ、かながわ311ネットの方々と交流ができ、今後の連携の一步となった。
- ④ 葉山災害VCポータルサイト(<https://chiiki-bosai.jp/hp/hsvc>)の充実に努めた。この結果、アクセス数19,000回となった。

3. 「関係機関や地域の団体との連携を強化、認識の共有」について

- ① 「災害VC連携会議」は、行政の都合で行われなかった。
- ② 「三浦半島地区地域災害ボランティアネットワーク交流会(葉山・逗子・横須賀・三浦市)」(3月17日)に参加し、情報交換を行った。
- ③ KSVN(神奈川県災害ボランティアネットワーク)理事に当会から吉田見岳副代表を派遣し、情報共有に努めた。
- ④ 町内諸団体とニーズ対応での連携可能性の話し合いは、具体化しなかった。
- ⑤ 「令和4年度ビッグレスキューかながわ(神奈川県・葉山町総合防災訓練)」(10月16日)の中で、「災害VC設置運営訓練」を社協職員、HSVN会員、その他の諸団体と協働して行った。社協職員14名、HSVN17名参加。
- ⑥ 「防災まちあるき・パークド四季編」(8月20日・参加20人のうち一般14人)を、ハザードマップを持って、一色パークド四季周辺を歩いてチェックした。講師の矢部満(葉山在住、日本地滑り学会会員)さんより当地区の豪雨災害に関する防災上のポイントを紹介していただいた。

4. 「広報活動」について

- ① FB、インスタグラムで継続して活動状況を情報発信しているが、散発的なものにとどまり、十

分とは言えない結果となった。

FB: <https://www.facebook.com/hsvn77>

インスタグラム: <https://www.instagram.com/explore/tags/葉山災害ボランティアネットワーク/>

- ② 「100万人の線香花火ナイト」東日本大震災追悼行事を森戸海岸で実施した。(8月11日・参加約100名)
- ③ 会員相互の親睦は、残念ながらできなかった。
- ④ 「広報葉山」8月号でんごんぼんに「100万人の線香花火ナイト」の案内、10月号特集「だから皆で行こう！ビッグレスキューかながわ」に社協とHSVNの紹介記事が掲載された。

5. 「被災地支援活動」について

- ① 2022年5月1日に発生した横浜市中区打越地区で発生したがけ崩れによる土砂・瓦礫撤去をKSVN広域連携・被災地支援委員会よりボランティア募集があり、応募のうえ活動を行った。(12月24日、25日参加1名)
- ② 大きな災害が発生した時に緊急支援活動が行えるよう、引き続き「緊急支援準備金」の積み立てを続けた。

6. 「防災教育の取組」について

- ① てんでんこ逗葉に対する支援を継続して行った。
「ウイテマテ」(6月5日)を一色海岸で実施した。
(参加者は小学生27名、保護者、協力者を含め合計約50名 HSVN2名)
「キッズ防災デイキャンプ」(6月25日・玉蔵院)を実施した。
(参加者は小学生46名、保護者約30名、合計約80名 HSVN5名)
「第2回おうち de 防災」はオンラインで開催した。(10月1日)
(参加者は子ども5名、スタッフ HSVN2名ほか)
「KIDS防災ピクニック」(12月3日)を実施した。
(参加者は小学生23名・保護者6名、合計計29名、HSVN2名)
- ② 「災害発生時の対応体験会」(4月17日・参加36人のうち一般17人)
感染症対策を施し、土嚢づくり、トランシーバーを使用した通信訓練を実施した。
- ③ KSVN、横浜災害ボランティアネットワーク会議、横須賀市災害ボランティアネットワークの訓練などの行事で支援した(詳細は巻末〈表〉参照)。

7. 総務・その他の活動

- ① 2022年度HSVN総会は、出席者35名(内委任状15名)により開催された(6月5日)。
・2021年度活動報告・決算、2022年度活動計画・予算が提案どおり承認された。
・HSVN10周年を記念した冊子(HSVN・葉山町社協の共同編集)が総会時に配布された。
- ② 総会終了後『普段の困りごとが何倍にもふくらむ「災害時」』をテーマに、災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ(みんな)共同代表の伊藤朋子さんに講演していただいた。
- ③ 運営委員会は、コロナ禍のため、社協会議室参加者とZOOMを利用したオンライン参加者を結ぶ二元中継で毎月開催を継続した。

8. 組織状況報告

◇2022年度末 会員数 51名(うち正会員 39名、賛助会員 12名)

その他の活動記録を巻末に掲載しましたので、そちらもご覧ください。

2022年度収支報告

科 目	2022年度 予算 (¥)	2022年度 決算 (¥)	摘 要
I 収入の部			
1) 会費	49,000	42,000	51名中42名
2) 助成金	100,000	100,000	年末たすけあい運動助成金
3) 参加費			
4) 寄付金	10,000	26,500	企業、団体、個人5者から
5) 繰越金	54,174	54,174	前年度より繰越し
6) 預金利息		3	
収入合計	213,174	222,677	
II 支出の部			
1 事業費			
1) 訓練研修 準備・実施費	20,000	13,504	訓練・研修に係る諸費用
2) 訓練研修 通信・印刷費	3,000	9,033	葉書、切手、郵送代など
3) 訓練研修 講師・会場費	10,000	39,800	講師謝礼、手話通訳
4) 訓練研修 参加・移動費	5,000	9,900	他団体訓練参加移動費など
5) 連携プロジェクト関係費	3,000		
6) 災害支援活動派遣関係費			
7) 防災教育活動関係費	15,000		
8) 広報PR活動関係費	3,000		
9) 地域活動関係費	3,000	4,998	町内連携に係る費用（線香花火など）
事業費計	62,000	77,235	
2 管理費			
1) 加盟会費	13,000	13,000	KSVN、社協
2) 保険料	2,000		イベント保険
管理費計	15,000	13,000	
3 事務費			
1) 会議費	35,000	32,212	ZOOM利用会費など
2) 交通費	1,000		
3) 通信費	5,000	9,770	葉書、切手、郵送代など
4) 消耗品費	1,000		
5) 機材購入費	30,000	10,616	機材ボックス等
6) 雑費	5,000	2,529	諸雑費
事務費計	77,000	55,127	
4 緊急支援活動準備金積立て	20,000	20,000	
繰越し抜き支出合計	174,000	165,362	
5 繰越金	39,174	57,315	
支出合計	213,174	222,677	
緊急支援活動準備金積立ての部			
I 収入の部			
1) 一般会計より積立て	20,000	20,000	2023年度一般会計より繰り込み
2) 繰越金	260,000	280,000	前年度繰越金
収入合計	280,000	300,000	
II 支出の部			
1) 緊急支援活動費	280,000	0	被災地支援活動
2) 繰越金	0	300,000	
支出合計	280,000	300,000	

HSVN は 2022 年度「(株)三留モーター商会」様、「ラーメンあじ平」様、「葉山住宅協会」様、

「(有)キリタ」様から協賛をいただきました。ご厚意に深く感謝申し上げます。

2022 年度会計監査報告

2023年⁴8月30日

会計監査報告書

葉山災害ボランティアネットワーク
代表 柿本 秀二 殿

会計監査 松元美恵 印

会計監査 吉田健太郎 印

葉山災害ボランティアネットワークの2022年度会計監査を下記のとおり実施しましたので報告します。

記

監査実施日 ⁴
2023年⁴8月30日

監査書類

2022 年度収支会計報告書 および 関係書類監査結果、上記書類について、厳正に監査を行った結果、いずれも正確かつ適正に取り扱われていることを認めます。

以上

－添付資料－

〈表〉 ICT学習・活用ワークショップ等各種訓練の参加状況

訓練名	訓練日	当会からの参加人数
かながわ災害情報連絡会「オンラインICT講座」	4月9日	1名
	4月16日	スタッフとして1名
	5月14日	1名、他にスタッフとして1名
	6月4日	スタッフとして1名
	6月25日	1名
	7月2日	1名、他にスタッフとして1名
	7月30日	1名
	8月2日	スタッフとして1名
	8月6日	スタッフとして1名
	8月13日	スタッフとして1名
	8月16日	スタッフとして1名
	9月3日	スタッフとして1名
	9月17日	1名、他にスタッフとして1名
	10月8日	2名
	10月22日	1名
	11月5日	1名
	11月19日	スタッフとして1名
	12月3日	1名、他にスタッフとして1名
	12月17日	2名
	1月7日	スタッフとして1名
1月21日	2名	
2月4日	1名	
2月25日	スタッフとして1名	
3月11日	1名	
3月18日	スタッフとして1名	
かながわ 311 ネットワーク「防災教育ファシリテーター養成講座」ほか	7月2日	(～7/23日まで4回開催)1名
	10月22日	(～12/3日まで4回開催)1名
	3月4日	1名
県コミュニティカレッジ「災害ボランティア養成講座」ほか	7月20日	(～7/27日まで2回開催)1名
	8月28日	(～9/11日まで3回開催)1名
内閣府防災担当「多様な主体間における連携促進のための基礎研修」ほか	11月29日	2名
	12月6日	1名
	1月22日	1名
横浜市総合防災訓練 KSVN 災ボラ体験コーナー	8月21日	スタッフとして1名
つるみ臨海フェスティバル 災ボラ体験コーナー	10月15日	スタッフとして1名
横須賀市災害時 VC 設置運営訓練	11月20日	スタッフとして1名

みんな「被災者支援連携体制構築にかかる訓練」(図上訓練)	12月23日	2名
震災対策技術展・横浜でKSVN「災ボラ体験訓練」	2月3日	4名、他にスタッフとして1名
神奈川県・県災害救援V支援センターと地域の情報伝達訓練	3月16日	1名
湘現会「災害に備えた地域の取組み」講演会	6月12日	1名、他にスタッフとして1名
災害復興まちづくり支援機構「第15回復興まちづくりシンポジウム」	7月15日	1名
図上訓練実行委員会「第3回広域連携かながわ図上訓練」	1月26日	2名
SL千葉県ネット「災害ボランティア活動図上訓練」	5月14日	1名
SL災害VネットSL全体研修2022「電気の備えは大丈夫ですか」	7月18日	1名
SL湘南ネット「イメージTEN研修」	10月30日	1名

【第2号議案】2023年度活動計画（案）

2022年度活動報告で述べたように、昨年度はビッグレスキューの準備と活動展開に1年の大半を費やした年度でありました。その中で活動計画に掲げた計画の多くが実行できなかったのですが、2023年度においては、従来から掲げてきた基本重点事項にそって、昨年度実行できなかった計画を進めるとともに、ビッグレスキューの経験を進化させ、発見した課題の解決に向けて取り組んでいくことを方針としたいと思います。

2023年度は会の設立以来12年目となります。会の活動の中心メンバーの高齢化も進行しました。そうした中、会の若返りはもっとも重要で、緊急を要する課題と考え、2023年度の役員改選を期に、その課題解決へむけて一步を踏み出したいと思います。

コロナ感染症に対する対策は、国の方針も変わりましたが、決して終結したわけではなく、これからも一般的な感染症対策は不可欠であると思います。

2023年度の活動計画は、基本重点事項を引き続き堅持していく中で、状況の変化に応じた感染症対策を行いつつ、今まで以上に視野を広げた活動を目指していく年度としたいと思います。

<基本重点事項>

1. 会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成に努める。
2. 災害VCの仕組み造りを推進する。
3. 関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る。
4. 広報活動を通じて新会員の獲得に努める。
5. 被災地支援活動を継続して行う。
6. 防災教育に関する取り組みを継承・発展させる。
7. 組織体制を見直し、体質強化に努める

<具体的活動内容>

1. 会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成に努める。

- ① 2023年秋を目処に災害VC設置運営訓練を行う。
- ② 他団体が行う訓練・研修に積極的に参加し、多様な方法を学ぶ。
- ③ 災害VC運営に関するICTの導入を学び、学習・活用ワークショップの開催を行う。

2. 災害VCの仕組み造りを推進する

- ① 災害VC設置運営訓練を行い、その成果をもとにマニュアル・様式を検証し、改善する。
- ② 災害VC閉鎖後のニーズ対応について社協と話し合い、方針を定める。
- ③ 災害VCの障がい者対応について、学びを深める。
- ④ 災害VC運営の新しい動きを学び、中間支援組織との関係構築を目指す。
- ⑤ ポータルサイトの運営と充実に努める。

3. 関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る

- ① 「災害VC連携会議」に参加し社協・行政・町内の他団体との連携を図る。
- ② 社協職員が参加しやすい研修、訓練を計画し、社協に提案し連携を深める。
- ③ 「三浦半島災害ボランティアネットワーク交流会」(葉山・逗子・横須賀・三浦市)に参加し広域連携に向けて関係を強化する。
※横浜市金沢区の災ボラグループは「三浦半島災害ボランティアネットワーク交流会」から離脱の方向
- ④ KSVN(神奈川災害ボランティアネットワーク)に理事を派遣し、情報共有、各種訓練に参加する。
- ⑤ 町内災害ボランティア関係団体、防災関係団体との関係強化を図る。
- ⑥ 町内諸団体とニーズ対応での連携可能性について話し合う。
- ⑦ 「はやま町歩き」「語り場」を適宜行う。
- ⑧ 町の総合防災訓練に参加し、災害 VC の啓発活動を行う。

4. 広報活動を通じて新会員の獲得に努める

- ① Facebook、インスタグラムなどの SNS 上の情報発信を継続・強化する
- ② 町内で行われるイベントなどに参加し広報活動を行う。
- ③ 会員相互の親睦を図る。リアル・リモートなど状況に応じて判断する。

5. 被災地支援活動を継続して行う

- ① 大規模災害時の緊急支援活動を行えるように準備する。
- ② 「緊急支援活動準備金」の積み立てを続ける。

6. 防災教育の取組みを発展させる

- ① 「てんでんこ逗葉」の防災キャンプ、防災ピクニックに対する支援を継続して行い、今年度の行事は共催で行う。
- ② 会員と会員以外を対象とする防災・減災に関する勉強会を行う。また他団体などから要望があれば、資料の提供や講師の派遣などを行う。

7. 組織体制を見直し、体質強化に努める。

- ① 運営委員会の中に事務局を置き、代表・副代表の補佐を行うようにします。
- ② 役員の改選を行い、過去 12 年の成果・経験値を次世代に繋げていく第一歩とする。
(第 4 号議案)
- ③ 規約の一部改訂
第 1 条(名称・所在地)に住所を記載します。
住所:葉山町堀内 2220 葉山町社会福祉協議会気付

【第3号議案】2023年度予算

科 目	2022年度 予算 (¥)	2023年度 予算 (¥)	摘 要
I 収入の部			
1) 会費	49,000	51,000	51名
2) 助成金	100,000	100,000	年末たすけあい運動助成金
3) 参加費			
4) 寄付金	10,000	20,000	
5) 繰越金	54,174	57,315	前年度より繰越し
6) 預金利息			
収入合計	213,174	228,315	
II 支出の部			
1 事業費			
1) 訓練研修 準備・実施費	20,000	20,000	訓練・研修に係る諸費用
2) 訓練研修 通信・印刷費	3,000	10,000	葉書、切手、郵送代など
3) 訓練研修 講師・会場費	10,000	20,000	講師謝礼、手話通訳
4) 訓練研修 参加・移動費	5,000	10,000	他団体訓練参加移動費など
5) 連携プロジェクト関係費	3,000	3,000	広域連携などに係る費用
6) 災害支援活動派遣関係費			
7) 防災教育活動関係費	15,000	10,000	てんでんこ逗葉、勉強会費用など
8) 広報PR活動関係費	3,000	3,000	広報活動に係る費用
9) 地域活動関係費	3,000	5,000	町内連携に係る費用
事業費計	62,000	81,000	
2 管理費			
1) 加盟会費	13,000	13,000	KSVN、社協
2) 保険料	2,000	2,000	イベント保険
管理費計	15,000	15,000	
3 事務費			
1) 会議費	35,000	35,000	ZOOM利用会費など
2) 交通費	1,000	1,000	交通費
3) 通信費	5,000	10,000	葉書、切手、郵送代など
4) 消耗品費	1,000	5,000	印刷用紙、事務用品など
5) 機材購入費	30,000	30,000	
6) 雑費	5,000	5,000	諸雑費
事務費計	77,000	86,000	
4 緊急支援活動準備金積立て	20,000	20,000	
繰越し抜き支出合計	174,000	202,000	
5 繰越金	39,174	26,315	
支出合計	213,174	228,315	

緊急支援活動準備金積立ての部

	2022年度 予算 (¥)	2023年度 予算 (¥)	摘 要
I 収入の部			
1) 一般会計より積立て	20,000	20,000	2023年度一般会計より繰り込み
2) 繰越金	260,000	300,000	前年度繰越金
収入合計	280,000	320,000	
II 支出の部			
1) 緊急支援活動費	280,000	320,000	被災地支援活動
2) 繰越金	0	0	
支出合計	280,000	320,000	

【第4号議案】役員改選

葉山災害ボランティアネットワーク規約第8条(5)に定める幹事として、新たに下記1名を選出します。また役員の役職を変更します。

○新たに選出する役員

幹事 本多 法仁 (ほんだ ほうじん)

○役員役職の変更

幹事→副代表 狩野 友伸、 幹事→副代表 増田 佳恵

副代表→幹事 西山 利廣、 副代表→幹事 矢嶋 恵子、 副代表→幹事 吉田 見岳

新任幹事を迎え、2023年度の役員体制は以下の通りとなります。

役職	氏名		備考
代表	柿本 秀二		
副代表	狩野 友伸	新任	
副代表	増田 佳恵	新任	
会計	小峰 梅男		
幹事	岡村 恭子		事務局
幹事	窪田 美樹		事務局
幹事	西山 利廣		事務局
幹事	矢嶋 恵子		事務局
幹事	吉田 見岳		事務局
幹事	雨宮 正治		
幹事	関 志歩		
幹事	千葉 綾		
幹事	中村 和雄		
幹事	本多 法仁	新任	
幹事	松平 克己		
会計監査	松元 美恵		
会計監査	吉田 健太郎		

顧問	丸 恭輔		
----	------	--	--

以上